



こころにスマイル 未来創造パーク

10月1日に誕生したエンペラーペンギンの赤ちゃん 自然育雛に向けて親鳥のもとへ返します



2021年10月15日撮影

アドベンチャーワールド（和歌山県白浜町）では、2021年10月1日（金）に誕生したエンペラーペンギンの赤ちゃんが、目標体重500gに成長するまで人の手で育てる「初期人工育雛」を行っています。目標体重に達したため、10月19日（火）に親鳥のもとへ戻します。今後は親鳥が赤ちゃんを抱き、スタッフが介添え給餌を行いながら、親子をサポートしてまいります。

【エンペラーペンギンの親子公開について】

自然育雛への移行に伴い、ペンギン王国1階から海獣館2階へと公開場所を変更します。

■公開時間：開園～午後4時30分

■公開場所：海獣館2階ペンギン展示場

※報道関係の皆様向けに親鳥の元へ返す様子を公開いたします。

撮影を希望される方は、前日までにアドベンチャーワールド
広報までご連絡くださいますようお願いいたします。

（集合時間：午前7時30分 場所：ペンギン王国1階）



※親鳥のもとへ返す様子

2019年10月21日撮影



親鳥主体の子育て方法にチャレンジ ～未来の繁殖を見据えて～

エンペラーペンギンの繁殖は当初、赤ちゃんが無事卵からかえり成長することを重視し、体重40kg近くある親鳥が卵をつぶしてしまわないよう人の手で育てる「完全人工育雛」を行っていました。2004年に初めて赤ちゃんが誕生しましたが、完全人工育雛によって育った赤ちゃんは、人間を親と認識し、成鳥となってもペアを作らず、次の世代の繁殖につながらない可能性があります。2012年よりアドベンチャーワールドでは、卵を親から預かり、孵卵器にて孵化させ、その後、雛の体重がある程度成長するまで人の手で育て、体力をつけてから親鳥へ返す「初期人工育雛」という方法にたどり着きました。

【アドベンチャーワールド エンペラーペンギン繁殖の歩み】

- 1997年：エンペラーペンギン繁殖研究開始
- 2004年：日本で初めてエンペラーペンギンの赤ちゃんが誕生。
世界でも2園館目となる貴重な出来事でした。
- 2004年～2011年：完全人工育雛によって計6羽の赤ちゃんが誕生・成長。
- 2012年：初期人工育雛に初めて挑戦するものの、親鳥の給餌がみられず、完全人工育雛に切り替える。
- 2013年：エンペラーペンギンの繁殖において、初めて親鳥からの給餌を確認。
(初めて初期人工育雛に成功)
- 2015年：初期人工育雛に挑戦するものの、親鳥からの給餌がみられるまで約3か月かかり、その間はスタッフが給餌を行う。
- 2016年：初期人工育雛に挑戦してから4羽目、累計10羽目の赤ちゃんが誕生。
親鳥のもとへ返し、約2週間後には親鳥からの給餌がみられ無事に成長。
- 2017年：10月2日に11羽目の赤ちゃんが誕生。
- 2018年：10月3日に12羽目の赤ちゃんが誕生。
親鳥のもとへ返し、8日後には親鳥からの給餌がみられ無事に成長。
- 2019年：10月1日に13羽目の赤ちゃんが誕生。
- 2020年：10月2日に14羽目の赤ちゃんが誕生。
親鳥のもとへ返し、約2週間後には親鳥からの給餌がみられ無事に成長。
- 2021年：10月1日に15羽目の赤ちゃんが誕生。

【アドベンチャーワールド ペンギンプロジェクトについて】

アドベンチャーワールドでは、1978年の開園時にフンボルトペンギンとキタイワトビペンギンの飼育を開始し、1990年から自然界で暮らすペンギンコロニー（繁殖群）を再現すべく、「ペンギンプロジェクト」として本格的に飼育・繁殖研究に力を注いできました。アデリーペンギン、ヒゲペンギン、ジェンツーペンギン、キングペンギンと繁殖実績を積み、1997年に世界最大のペンギン、エンペラーペンギンの繁殖研究を開始しました。

【国内2園館でエンペラーペンギンを飼育 未来の繁殖に向けて】

現在、日本国内でエンペラーペンギンを飼育しているのはアドベンチャーワールドと愛知県の名古屋港水族館の2園館のみです。当パークではこれまで誕生した15羽の赤ちゃん（今回の赤ちゃんも含む）はすべて同じ両親から生まれており、血統問題が深刻化しています。未来の繁殖のため2009年より、2園館でブリーディングローンを開始しました。2019年の3月には10年ぶりにブリーディングローンとして1羽ずつ血統交換を行い、昨年続き今年も、名古屋港水族館からやってきた個体とアドベンチャーワールドで暮らしていた個体の間に産卵を確認しました。今年も無精卵で誕生には至りませんでした。この経験を活かし、有精卵に繋がるように取り組んでまいります。

※ブリーディングローンとは

希少な動物を絶やさず増やしていくために、動物園や水族館同士で動物を貸したり借りたりする制度のことです。双方で協力して種の保存に取り組んでいます。ブリーディングローンの実施により、希少動物のペア飼育や群飼育が進み、たくさんの動物が繁殖に成功しています。

